



ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第333号

栄光から栄光へと伝えられること

マヘル神父

観想祈祷のお蔭で、本人のパーソナリティーにゆっくりした歩みとは言え、しかも不思議な変容が起こります。霊性や祈りに、その本人を変えるほどの力が入っていなかったならば、無意味な祈りと言っても仕方ないでしょう。絶え間なく祈って、なお何も変わらない古い人間のままで居残っているならば、結局本人の祈りは、本物ではないことが分かります。効き目のない祈りは、活ける神のみ前に、何だか隠れん坊をして遊ぶことです。主のみ霊が本人の生活に入ってはならないかのように、上手に邪魔してしまうのです。しかし、本物の観想祈祷をする人は、霊の働きに対して心を開きます。それでみ霊の賜物とみ霊の実も次第に現れてきます。このように祈りを続けているうち、イエスがあなたのために用意された平安を味わいます。祈りの内に主のみ霊の活ける水を毎日浴びているあなたは、日に日に癒されてキリストの背丈まで成長します。

神のみ前にくつろげる人は、人の前でも同じ態度をとります。神経質な怒りっぽい人が嫌われる反面、平和な力を発散する人は、誰でも付き合いたいでしょう。積極的な同情を示し、しかもその必要に応じて、その特徴をつかむ人は、みんなに好かれます。

アピラの聖テレジアは観想祈祷の効果に

ついて、自分なりの証を提供します。「一年間、神のみ前に生きることを試して見なさい。そうすれば、年末の時に、完徳の峰に立つ事となろうが、本人は全然気が付かないでしょう。」この証言は、とても控えめなものです。やはり現代人の証言として、最も積極的なものです。観想祈祷に精を出し始めたのは、わずか二年前のことです。それでも私は自分自身についてのことで、次の変化を認めます。

以前の恐れ、緊張、様々な不安の代わりに、今は喜び、平和、安らぎを味わっています。最も困難な事情に直面しても、難問題の解決が迫っていても、この平和はそのまま残ります。しかも難問題が思いもよらないような解決が可能になりました。それも私の知恵のお蔭ではなく、私が盲人のように何一つ解決策が見当たらないのに、問題は実際に解決済みになります。(2面へ続く)

マヘル神父	1・2面
ブイさん紹介	2面
エリック神学生より	3面
委員会報告	4面
パウロの歩いた道	5面
レプトン会・今月の聖人	6面
教会学校	7面
お知らせ	8面

活ける神とそのみ霊と言う神秘的な現実を益々把握できる確信が強くなります。神の父母性を垣間見る恵み、神の愛を受けているこの私の、個人としての尊厳と価値の実感は、以前の自己嫌悪と消極主義をまったく追い払ってしまいました。

私の職業と職業上の辛い仕事、人から受ける批判などを、安心して受け入れ愛に駆られて、自分を主に明け渡そうとする傾向が強くなりました。他人の事を大目に見たり、受け入れたりしています。以前に比べて、自分の短気はかなり『長く』なりました。主の憐れみを頂いた私は、高慢な気性にも関わらず、多くの悲劇から守られたことを知っています。私は次第に自分の中に潜んでいる『自我』と言う偶像を発見する。真理を求める人にな

りました。

そして多くの心理学上の病が診断されることから、私は益々解放され自由になりました。主に召されたという無償の賜物を、益々評価できるようになりました。その召し出しにふさわしく生きる努力も本物になり気の長いものになりました。観想的でない他の祈りや信心業は、一層意味深いものとなりました。神を探し求める心は益々深くなっています。以前は、私はしょんぼりした自己憐憫を患っていましたが、今は勇気を奮い起こして善に励むようになりました。信仰も、希望も、愛も、深くなったことは事実です。この宝を分かち合いたいと切に望んでいます。

(4月号に続きます。)



『はじめまして、ブイ ヴァン ホアン と申します。ベトナムから来ました。どうぞ、よろしくお願ひします。』

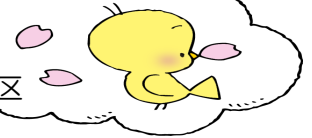
ブイさんは、いつもミサに来られている快活な青年です。以降は、広報委員からのインタビューですが、気軽に答えて頂きました。

ブイさんは、2012年7月に来日、遠賀町に住まわれ、すぐに水巻教会にも通われるようになりました。お仕事は、精密機械の製作や研磨です。日本の気候を特に寒いとは思われないそうです。ベトナムでのご家庭は、両親揃って、カトリック信者だそうです。水巻教会の人々は、とても熱心で、優しく接して頂き、ありがたく思っているそうです。

さて、先週(2月8日)から、新しく同じベトナムの青年、マイ キム トンさんが、来日し、早速、水巻教会にいらっしゃっています。歓迎しましょう。

心から感謝しております

エリック・デ・グスマン 大阪教区



水巻カトリック教会の皆様、一年間、大変お世話になり、心から感謝を申し上げます。わたしの司牧実習の最終日に、送別会、饞別、寄せ書きなど、たくさんの準備といい思い出をくださって、本当にありがとうございます。

時間が経つのはとても早いです。そういえば、わたしはある英語のことわざを思い出しました。「*Time flies so fast.*」というのです。日本語では、「光陰矢の如し(こういんやのごとし)」という該当することわざもあると伺いました。

最初は、侍者の指導と教会学校を担当するようにとわたしが頼まれました。7月からは、堅信の勉強会も担当させて頂きました。どちらでも、わたしが教える立場のはずでしたが、実際にわたしの方はいろいろ学ばせて頂きました。例えば、神学院では、侍者奉仕が当たり前のように行っていますので、わたしは細かいところまであまり見ていなかった気がします。しかし、小教区で侍者指導に関わると、わたしは侍者の動作にさらに注目をするようになりました。また、教会学校のリーダーになったおかげで、わたしは聖書、特に、福音のメッセージだけではなく、聖書が書かれた当時の状況と他の聖書箇所とのつながりをよく調べるようになりました。そして、堅信の勉強会に関しては、わたしも自分が受けた堅信とそれを受ける前の準備と勉強を一所懸命思い出させられました。

子どもの頃、わたしには「子どもたちにカテキズムを教える」という小さな夢がありました。水巻教会における実習によって、この小さな夢が叶えられました。堅信の勉強会は自分にとっての初めて試みでしたが、受堅者の皆様のおかげで、何となく無事に行うことができました。わたしのために、教会へ奉仕するたくさんに機会を作ってくくださった水巻カトリック教会の皆様、マヘル神父様をはじめ、信者の皆様にごとうありがとうございます。わたしの心から、*Maraming, maraming salamat po.*(マラミング、マラミング サラマツト ポ。タガログ語では、「どうもありがとうございます」という意味です。)

これからも、わたしの召命のためにお祈りをして頂ければ、幸いです。しばらくは神学院の福岡キャンパスで勉強をさせて頂きますので、チャンスがありましたら、また遊びに行きたいです。神様の豊かな祝福がわたしたちの上にもありますように。



委員会等報告

2015年2月分

2月度小教区委員会

2月8日

1. 先月の行事報告

- エリック神学生の送別会
70人くらい参加
- 信徒協集まり

2. これからの活動予定

①地区集会

2月1日から3月1日までの期間に順次
開催予定

②四旬節について

共同回心式予定 3月13日(金)
10時・19時30分

③黙想会

日程 3月7日(土)午前10時・午後7時
3月8日(日)ミサ後講話
(10ページ参照)

3. 議題

●地区集会報告

赤間地区

巡礼旅行：5月連休 候補地：長崎 平戸
ミサの中での献金の集め方：入口に箱を置
くと同時に籠を回す。駐車場献金を営繕に
回す案については概ね賛成。同時に営繕費
用の補填のために、1世帯2万円のお金を
集める

遠賀地区

ひざまづき台の撤去について：前列3列を
外す案が出た。時間をかけて意見を聞く。
献金箱を後ろに置く：しばらくアナウンス
してお知らせを行う。

営繕献金(積立)：賛成。ルールを明確に
してほしい。駐車場献金を廃止するなら、
まずその決算報告をする。説明会を開いて
ほしい。

役員構成について：年齢のバランスをとっ
てほしい。選出の基準をはっきりさせるこ
とと必要があれば規約の見直しをはかる。
外壁工事の内容について：まだ説明不足

●営繕から

駐車場車止めについて：意見として、7
台分の車止めの工事費用、業者の見積もり
35万円位。自分たちで工事をしてもいい
か等。もう少し検討する

黙想会の司祭の謝礼：教会から5万用意す
る。謝礼の献金箱を後方に置く

信徒会館天井補修：雨漏りの形跡がある。
調べるようにしたい

4. その他

●次回委員会は3月1日(日)

●信徒協報告

信徒協規約改正についての話し合いが
行われた。3月15日(日)会議が行われ
る

3月8日(日)「地球のステージ」

15時～19時

後日呼びかけとお知らせを行う

小・中学生への参加を呼びかけてみては
との提案あり



パウロの歩いた道 No.9

パウロたちが乗った船はトロアスを出港し途中の島のサモトラケ島を經由してマケドニアの港であるネアポリスに到着しました。以前、この港について書いたと思いますが、もう一度書きたいと思います。パウロたちが上陸したと言われる波止場の奥には、その当時の波止場が再現されたモニュメントがあります。船をつなぐ杭があり、その後の壁にはパウロたちが上陸した模様が描いてあります。ギリシャを旅すると使徒言行録に書かれている場所には、何らかのものが残っていますが、ほとんどは聖書の箇所を書いた小さな石板を掲示してありますが、これほど大きなモニュメントは他に無かったと覚えています。

ネアポリスの港から歩いて半日の所に「フィリピの信徒への手紙」が書かれたフィリポスの街の遺跡があります。港からの今の道は普通の舗装道路ですが、その横にところどころ古いローマ街道が残っているのを見ることができます。遺跡の中にも馬車の車輪の跡がくっきりと残っている街道が残っています。パウロもこの道を歩いたのでしょね。

この遺跡があるマケドニア地方は古くから豊かな平原でした。紀元前四世紀にはギリシャ地方を全て支配するほどの王国が出来ていました。農産物だけでなく周囲の山地からは金銀など多くの鉱物資源が産出されていました。そのために国力は豊かで、ギリシャ全土を支配するほどでした。そのためフィリポス二世の息子であるアレキサンダー大王はギリシャだけでは満足せず、覇権を求めて大遠征を計画し、そのための船などを造って周到な準備をしました。その大遠征では最初にペルシャ帝国をシリアのアンティオキアの近くにあるイッソスでの戦いで壊滅させます。その後、大王は今のパキスタンの近くまで行って病気で死にます。マカバイ記一の1章1節～9節にこの概略が書いてありますので読んでみてください。

この平原はローマ帝国の物語が好きな人には有名な平原でもあります。ローマの元老院で反乱を起こし、当時の独裁者ジュリアス・シーザー暗殺したブルータスたちは後にローマから追われ、マケドニアの平原で最後の戦を行って敗れ死んでしまいます。

フィリポ遺跡には当時の繁栄を物語るような素晴らしいモザイクなどが残っていますが、パウロが捕らえられ入れられたと言われる牢獄の穴の後も残っています。(使 16章 23節)

町を少し通り過ぎた所には「祈りの場所があると思われる川岸」(使 16章 12節)などもあります。このようなところを歩くと、聖書の世界は作り話ではなく本当にあったことなのだということを実感するとともに、使徒パウロの宣教の旅のすごさを体で感じることができます。フィリポスからアテネに向かって南に進むと、パウロが旅をして立ち寄ったと使徒言行録に書いてある何か所かの場所を通り、その南に、「テサロニケの信徒への手紙」があるギリシャ第二の大都会であるテサロニケに着きます。この町にはパウロ時代の遺跡はほとんどないようですが、キリスト教初期の時代に活躍した聖人の遺跡がたくさん保存されていて、その聖人を記念した聖堂もあります。

レプトン会

ペルーの修道院からのお礼の手紙

十 主の平安

新しい年も神様の豊かな祝福で満ちた年となりますように・・・

あけましておめでとうございます。私は休暇で昨年末に帰国し1月31日にペルーへ帰ります。

今日、皆さま方から36万円の寄付を頂いたことを、係のシスターより伺いました。本当に心から感謝申し上げます。

毎年毎年大変な生活の中で、私共の為にいつも心をくだいて沢山の寄付をして頂いていますことは、ペルーで働く私たちに大きな励ましを与えてくださいます。直接宣教にたずさわっている私たちを遠くで支えてくださる皆さまがいなければ、私たちの宣教の実りはありません。皆さま方のお祈り、又物質的援助によって毎日神様と人々に奉仕することができます。今、マリア・タキ保育園では約70名近い子どもたちが、毎日おやつと昼食をおいしく頂いています。

前に住んでいたパンプロナから、隣の区にあるサンガブリエル地区に移って、はや四年目になろうとしていますが、シスターたちは保育園のある場所に住むことが出来ず、毎日朝早くから1時間半位の距離を保育園までバスで通っています。

それでも子どもたちの元気な笑顔を見ると、すべての苦労は消えてしまいます。天使のような子どもたちは、本当に神様からの大切なおくりものですネ。

この子どもたちが、将来この国の為、又世界の人々の為に何らかの形で働くことができたらと願いながら、子どもたちの教育に頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆さまの上に神様と聖母マリア様のお取り次ぎをお願いながら・・・本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。 2015年1月25日

ペルー・リマの聖女ローザ準管区 管区長 シスター テレジア川端
(代筆 シスター マリアミカエラ山田)

今月の聖人

2日 聖シンプチリオ教皇

在位 468年-483年

シンプチリオは、イタリアのティボリに生まれました。476年、西ローマ帝国はゲルマン人の侵入によって滅ぼされ、教会は混乱の最中にありました。偶像崇拜やアリウス派の異端が広まり、東ローマ帝国の皇帝も異端説を信じていました。

その激動期にシンプチリオは教皇として選出され、正当信仰を擁護し、教皇権を守り主張するとともに人びとを支え、教会の発展に努めました。

483年、教会のために生涯をささげたシンプチリオは神に召され、聖ペトロ大聖堂内に葬られました。



教会学校のページ

1月25日

この日は、教会でエリック神学生の送別会があったため、通常の教会学校はお休みでした。

みんなで、エリック神学生へメッセージを寄せ書きした色紙を、当日エリック神学生に渡しました。

2月 8日 (出席者 井上美砂さん・平田綾香さん)

2月11日が「ルルド聖母の日」ということで、ルルドの聖母御出現について学びました。

ルルドというピレネー山麓の小さな村で、ベルナデッタ・スビルーという14歳の少女に聖母マリアが現れました。その後、そのしるしとして、多くの奇跡がありました。

ルルドは有名な巡礼地であり、実際にその地を訪れた成松リーダーより、ルルドの泉の写真も見せてもらいました。

突然の出来事の中でもマリア様の言葉に、けんきよで従順であった、ベルナデッタを見習い、ロザリオを唱えました。

四旬節の間、少しずつでも、がまんと犠牲を捧げるために、愛の献金箱を各自で作ることにしました。



3月



おしらせ

★黙想会の知らせ★

日時：3月7日(土) 午前10時～
午後7時30分～
8日(日) 午前9時30分～
ミサ後、講話
※12時終了予定

指導司祭：坂本陽明神父

★共同回心式★

日時 3月13日(金)
午前10時～ 午後7時30分～
水巻教会で参加できないときは、北九州信
徒協だよりに、他の教会の共同回心式の日程
が載りますので、そちらをご覧ください。

★ホームレス支援炊き出し★

日時：3月13日(金) 11時～
場所：水巻教会 信徒会館
共同回心式と同じ日です。回心式の後、
実施しますので、多数の方のご協力お願
いします。

★塗装工事説明会の報告★

塗装工事説明会の報告を、4ページ分の
号外として、今月のからしだねに、はさん
でいます。お読みください。

★特別献金★

1月25日
児童福祉の日献金
28,800円
ご協力、ありがとうございました

★聖週間のお知らせ★

29日(日)(受難の主日) 9時30分より
4月
2日(木)(聖木曜日) 19時30分より
3日(金)(聖金曜日) 19時30分より
4日(土)(復活徹夜祭) 19時30分より
5日(日)(復活の主日) 10時より

★余談ですが★

今月のからしだね・3月号は、333号
になります。4つも「3」が揃ったので、
広報委員もびっくりしました。

人-ひと

【帰天】安らかに！

1月20日
◇村山 泰介さん (折尾地区)

